

製品名: クローディン-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08899**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN1
別名	CLDN1; CLD1; SEMP1; Claudin-1; Senescence-associated epithelial membrane protein
遺伝子 ID	9076.0
SwissProt ID	O95832
免疫原	抗血清はヒトクローディン 1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 162-211

背景

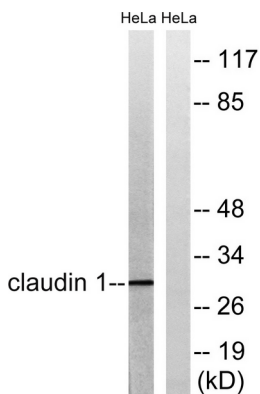
タイトジャンクションは、上皮細胞シートまたは内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシールを形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのジャンクションは、外側を向

いた細胞質リーフレットの連続したネットワーク鎖のセットと、内側を向いた細胞質外リーフレットの補完的な溝で構成されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はクローディンファミリーのメンバーであり、膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。機能喪失変異は新生児魚鱗癬-硬化性胆管炎症候群を引き起こします。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：CLDN1の欠陥は、魚鱗癬-硬化性胆管炎新生児症候群（NISCH）の原因です[MIM: 607626]。白血球空胞脱毛症および硬化性胆管炎を伴う魚鱗癬（ILVASC）とも呼ばれます。NISCHは、頭皮貧毛症、瘢痕性脱毛症、尋常性魚鱗癬、および硬化性胆管炎を特徴とする、まれな常染色体劣性複雑性魚鱗癬症候群です。機能:カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たす（類似性による）。肝細胞へのHCV侵入の共受容体として機能する。類似性:クローディンファミリーに属する。サブユニット:他のCLDNとホモポリマーおよびヘテロポリマーを形成することができる。ホモポリマーはCLDN3と相互作用するが、CLDN2のホモポリマーとは相互作用しない。TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用する。MPDZおよびINADLと相互作用する（類似性による）。HCV E1およびE2タンパク質と相互作用する可能性がある。組織特異性:肝臓および腎臓で強く発現する。心臓、脳、脾臓、肺、精巣でも発現する。、

研究分野

細胞接着分子（CAM）、タイトジャンクション、白血球の内皮透過性遊走、病原性大腸菌感染症、

画像データ



HeLa細胞ライセートをHu 2nMで24時間処理し、Claudin 1抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンは合成ペプチドでブロックした。